

議会だより

第128号 / 2010.2

通年議会をスタート



村の木「ラカンマキ」

平成21年第3回・平成22年第1回定例会

おもな内容

- | | ページ |
|-------------------|-----|
| ●11・12月会議で決まったこと… | 2 |
| ●一般質問(6名)…………… | 4 |
| ●1月会議で決まったこと…………… | 9 |
| ●議会活動報告…………… | 9 |

発行 / 長生村議会

編集 / 議会だより編集委員会



村の花「ハマヒルガオ」

第3回定例会11月会議

平成21年第3回定例会11月会議を11月13日に開催しました。

本定例会11月会議では、報告1件、議案3件、発議案1件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

議員報酬条例の一部改正を可決

一般職の職員の給与等について、人事院から減額を勧告されましたが、今日の社会情勢・村の財政状況を考慮し、議会も自ら報酬を削減すべきとして、議員発議により提案され可決しました。

6月支給の期末手当を0・15ヶ月分、12月支給の期末手当を0・05ヶ月分減額するもので、今年度は、すでに支給された6月分まで遡り、0・2ヶ月分が減額されます。

また、一般職・特別職についても議会同様、期末手当等を削減する提案があり、可決しました。



物品購入契約の締結を可決

平成21年4月に国が取りまとめた経済危機対策において「スクール・ニューディール構想」を提唱し、21世紀の学校にふさわしい教育環境の抜本的充実をはかる事としました。

これは、従来の国庫補助金に臨時交付金をプラスした施策です。

迅速かつ積極的な取り組み要請があったが、8月の政権交代により県から執行見送りの指示がなされ、9月議会の際には取り下げられました。

その後補助金見直しがあり、交付金決定が10月にされ、総合的に考慮し、各学校等にパソコン154台他、2625万円の購入契約を可決しました。

第3回定例会12月会議

平成21年第3回定例会12月会議を、12月9日から11日までの会期3日間で開催しました。

12月会議では、報告1件、認定6件、同意1件、議案5件、発議案2件が上程され、審議中に議案1件が撤回されました。その他はいずれも原案どおり可決しました。

また、日程追加により休会中の所管事務調査の申し出がありました。一般質問では、6人の議員が論議を交わしました。

平成20年度決算を認定

第3回定例会12月会議において、決算審査特別委員会に付託されていた平成20年度長生村一般会計歳入歳出決算ほか、5特別会計歳入歳出決算について、書類審査および主要成果について現地調査を行い、意見を付して認定するとの委員長

報告がありました。討論・採決を行い、それぞれ認定することに決まりました。

内容は次のとおりです。

【審査の方法】

執行部から提出された決算資料および監査委員の決算審査意見書に基づいて、

予算および事業の適性かつ効率的な執行並びに事業の成果に重点を置くとともに、前年度に決算審査特別委員会が指摘した事項の措置状況についても重点をおき、慎重に審査しました。

【審査結果】

①村税（特に国民健康保険税）の徴収率向上に努力をされたい。

②行政改革を引き続き推進し、歳入では村税確保の努力をし、歳出では徹底した予算執行管理を行い、住民サービスの低下を招かないようにされたい。

③歳出の一部に多額の不用額が見られるので、予算を的確に執行されたい。

④八積駅北側周辺まちづくり事業と八積駅自由通路整備については、費用対効果を十分に検証した上で住民に説明し執行されたい。

⑤国民健康保険特別会計は、1億7705万2千円の大幅な赤字決算となっている。安易な税率の引き上げは厳に慎み、慎重で計画的な予算執行をされたい。



高根小防災倉庫視察

**教育委員会委員の
任命同意を可決**

教育委員のうち、12月21日をもって任期満了となる委員の任命について、法第4条第1項により、議会の同意を求める提案がありました。

人望厚く、人格・識見ともに優れた東條藤夫氏の再任が、議会全員一致の賛成により同意されました。

長生村本郷917番地
昭和21年11月17日生



東條藤夫氏

**物品購入契約の
議案撤回を許可**

自主防災組織推進事業に係る防災資機材購入に関する物品購入契約が提案されました。

内容は、災害発生時の初動対応のため全自治会単位に配備する提案です。

質疑では、消防団・関係機関との協議が不十分など指摘があり、村長から、議

案撤回の申し入れがあり、議会は撤回を許可しました。

**議会改革特別委員
会の調査研究結果
報告**

6月29日の臨時議会で、議員全員による議会改革特別委員会を設置しました。

設置理由は、災害発生等の緊急事態・早急に解決すべき重要事件に対応できるようにすること、議会の機能強化を図る目的です。

特別委員会では、通年議会制度への移行を検証し、議員の発言規定の見直しで議会の活性化を図ること、またこれらを保証する議会基本条例制定の検討を行います。

9月から12月までの3ヶ月間、通年議会の試行を実施、この内容は通年議会、質疑・質問での一問一答方式の採用、及び回数制限の撤廃、説明員等の反問権という内容です。

9月28日から3日間が最初の通年議会の試行となり、質問内容がわかりやすくなるなど良い結果が出ました。議会と執行部で検証し、

1月より通年議会の実施と、議会基本条例が施行されます。

**議会基本条例
を可決**

議員発議で提出された議会基本条例は、議員全員が膨大な時間をかけてつくりあげた条例です。

この条例は、住民の付託に的確に応え、真の住民自治を実現できる議会を確立するため、全ての議員が全力で取り組むことを決意し、長生村議会における最高規範として、この条例を制定したものです。

**議会議規則の
全部改正を可決**

議会基本条例の制定に伴い、会議規則の変更を行う必要が生じたため、本会議の運営規定として、会議規則の全部を改正するものです。

新たな規則の主な内容は次のとおりです。

通年議会の導入、説明員等の反問権、議会報告会の義務化、質疑・質問の一問一答方式と回数制限の撤廃などです。

12月会議の審議結果一覧表

議案等番号	件名	議決結果	
報告第1号	諸般の報告（例月出納検査9、10月分）		
認定第1号	平成20年度長生村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
認定第2号	平成20年度長生村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
認定第3号	平成20年度長生村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員一致
認定第4号	平成20年度長生村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
認定第5号	平成20年度長生村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員一致
認定第6号	平成20年度長生村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	全員一致
議案第1号	長生村議会定例会条例の一部を改正する条例制定について	可決	全員一致
議案第2号	村長の専決処分事項の追加指定について	可決	全員一致
議案第3号	物品購入契約の締結について		撤回
議案第4号	平成21年度長生村一般会計補正予算（第3号）	可決	全員一致
議案第5号	平成21年度長生村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	全員一致
発議案第1号	長生村議会基本条例制定について	可決	全員一致
発議案第2号	長生村議会議規則の全部を改正する規則制定について	可決	全員一致
追加日程	休会中の所管事務調査等の申し出について	可決	全員一致

定例会12月会議

一般質問

6人の議員が議論を交わしました。

効率のよい 行政運営を

山口 裕之 議員

議員

本村も「事業仕分け」を実施する考えがないか伺います。

村長

一昨年から事務事業の評価を実施していますので、国が行っている事業仕分けを行う考えはありません。

議員

「事務事業の評価」とはどんなことか伺います。

**企画財
政課長**

各事業ごとに各担当が評価し、次に担当課で整理し、それを企画財政課と協議・整理し、最終的に村長が整理します。

議員

「事務事業の評価」の具体例を伺います。

**企画財
政課長**

平成20年度分では、234事業の評価をし、拡大が23件（外出支援サービス事業、包括支援センター事業）等、継続196、縮小（結婚相談事業）、休止（地名板・案内板）等が8件、完了が2件、新規は（小学校のプールの監視業務・特別教育介助活動）の2件です。

議員

「まちづくり交付金事業」がなくなった場合、八積駅周辺整備事業等の検討はどうされるのか伺います。

**企画財
政課長**

「まちづくり交付金事業」の廃止や修正等の場合、計画に混乱性が生じます。しかし、これに変わる事業が創設されれば計画通り進むと思います。

議員

今後は、本村の現状と将来の展望を見据え、前進的な暮らしの礎を築いていただきたいが、村長のお考えを伺います。

村長

財政健全化判断比率（4指標）に収まる形の事業運営を行います。今後も「事務事業評価」を継続し、安心できる

る村政を、職員と一緒に努めてまいります。

道路パトロールで 村道の安全点検を

議員

道路の改修や整備を必要とされる箇所の現状把握について伺います。

村長

昭和40年代の土地改良事業により大きく様変わりしましたが、当時の舗装道路がかなり老朽化しており、今後は、自治会の要望、道路パトロールなどの実施で、計画的に改修・整備を行っていきます。

議員

3地区の村道における、路面状態や「ガードレール」「カーブミラー」等の機能改善視界を妨げる雑草等、危険箇所の総点検を道路パトロールで実施出来ないか伺います。

建設課長

月曜日の午前中を道路パトロールの日と定め、村内を満遍なく巡回したいと考えています。また、道路の状態や視界、雑草の改善等は調査し、村が実施する必要があるかと思えます。

議員

今、行政に求められていることは住民ニーズの即効性です。限られた予算を活かし、積極的に対応する姿勢に住民は期待をしています。課長のお考えを伺います。

建設課長

道路の改修等は各自治会から多く上がっていますので、毎週実施する道路パトロールと決めたい日は、重点的に実施し、村全体を見てまいります。

*山口議員から他に

次の質問もありました*
◇平和の村づくりに
ついて



村道の一例

社会福祉に 支援する 村民のありかた

田島 弘雄 議員

議員

村の社会福祉協
議会の考えかた
について伺います。

村長

地域社会を推進
する団体として
「誰もが安心して暮らせる
まちづくり」を目指し、さ
まざまな福祉活動を実施し
ています。

議員

財源は、村民からの会費
と村からの補助金、事業の
委託費、及び赤い羽根の共
同募金等を充てています。

村長

自治会加入者と
未加入者の募金
や寄付金の収納方法につ
いて伺います。

議員

福祉に対する寄
付金や募金につ
いては、大半を自治会にお

願っています。

自治会未加入者の対応は、
長年の懸案事項であり、な
かなか解決策が見いだせな
い状況にあります。

議員

赤い羽根等の募
金に目標額があ
るか伺います。

村長

共同募金は各都
道府県共同募金
会が実施主体で、あらかじ
め目標額や集まった寄付金
の配分方法等が定められて
います。

議員

社会福祉協議会
の会費や募金に
ついて懸案事項とありまし
たが、村は会合を何回開き
そこでのような質疑がさ
れたか伺います。

福祉課長

自治会未加入者
に対する会費の
納入や募金について協議を
重ねてきましたが、今後、
先進事例などを調査しなが
ら協議していきます。

議員

また、イベント等を利用
した寄付、募金活動等につ
いて協議されました。

設置を、と思いますが考え
を伺います。

村長

社会福祉協議会
の会長に、この
ような提案があると話し合
ってみたいと思います。

自治会長会議につ いて

議員

毎年、年度当初
に自治会長会議
が行われておりますが、秋
にも行った理由について伺
います。

村長

今年度は10月27
日に2回目の会
議を開催しました。

主な案件は「村政への要
望等について」であり、自
治会内及び村内の日頃問題
となっていることを各自治
会から提議していただき、
今後の村政に役立たせるよ
う開催しました。

議員

自治会長会議で
どのような意見
・要望があったか、また回
答はどのようにしたか伺い
ます。

村長

自治会長会議で
受けた要望等は
45件ありましたが会議中に
説明し、45件全て文書で各
自治会長に11月25日付けで

回答しました。

議員

自治会加入促進
委員会を設置し、
どうしたら自治会加入率を
向上させることができるか
検討する考えがあるか伺い
ます。

村長

自治会の加入率
が長生郡市内で
一番低い問題については極
めて重大と認識しておりま
す。議員の提言につきまし
ては検討させて頂きます。



福祉センター

*田島議員から他に

次の質問もありました*
◇新型インフルエンザ
について

- ①接種のスケジュール
- ②ワクチン接種の実施方法
- ③長生都市の調査定点はどこか

国の補助金の 状況について

緑川 千里 議員

議員

村が受ける国の
補助金の種類や、
村で使われる各事業への補
助金の振り分け先がわかり
づらいので伺います。

村長

平成21年度予算
では、国庫補助
金歳入として4つを計上し
ています。

- ① 総務費国庫補助金の「まちづくり交付金」があり、事業費振り分け先は、道路改良事業に7路線・雨水排水整備に1路線・尼ヶ台公園施設整備1事業、それぞれ各事業として取組んでいます。
- ② 民生費国庫補助金があり、これは障害者の生活支援事業として実施してい

ます。

③ 衛生費国庫補助金として、合併浄化槽設置に係る補助、さらに検診関係への費用として健康増進事業を行うなど、合わせて2事業を行っています。

④ 教育費国庫補助金があり、これは要保護児童生徒援助及び特別支援教育就学奨励事業として実施しています。

また、この補助金で学校づくり交付金として、地上デジタルアンテナ工事等の事業も行っていきます。

議員

国の予算が厳しい中、補助金の継続性に疑問を感じます。

答弁の中で特に、まちづくり交付金対象事業の計画はいつまでを予定し、その進捗率や、今後、国事業見直しの場合、村の事業継続をどのように考えるのか伺います。

企画財政課長

平成19年度から平成23年度までの継続事業であり、進捗率は平成21年度末で79%です。今後の計画は、平成22年度に中学校の解体工事や道路改良、雨水排水整備など3件、平成22年度に道路改

良1件です。

見直しについては、現段階では仮定の事となりますが、計画された継続事業は単独事業としてでも完了させたいと考えています。

自治会長要望の地域対策工事について

議員

各自治会長が要望している雨水対策や防犯街路灯設置など、地域対策工事のスピード感が認められません。ついては雨水排水対策工事で、未処理の件数は何件あるのか、また、要望の日から最長となる案件の経過年数と、未処理の理由を伺います。

村長

道路改良を伴うものを含めて78件です。最長となるものは10年で理由は、用地買収が必要となり、また箇所が茂原市近隣で、受益者の大半が茂原市住民のためです。

議員

自治会長が要望する地域対策工事の予算上の優先順位は、どのようなになっているのか伺います。

村長

向こう3年間でこの事業を具体化するため、実施計画を策定

しています。

3年間の優先順位は、緊急度・危険度・過去の被害状況・用地・流末の有無・道路復員等々を考慮し、評価書を作成しています。

議員

去る10月27日に自治会長会議を開催した際、このような山積する地域課題について、説明や意見交換をしたか伺います。

村長

4月の1回目の自治会長会議で意見が出なかつたもので、会長職にも慣れた10月に実施し、地域課題を聞くべく開催しました。

議員

テーマ設定を行う政側への要望ではなく、「村政への要望」とした事に疑問を持ちます。地域で山積する問題を、いかに実効性のあるものとするか意見交換する事が大切、と考えるのがいかか伺います。

村長

2回目は初めてのご指摘の不十分さはあると思いますが、今後不十分さを生かして行きたいと思えます。

**村長の政治姿勢
住民の声を
予算編成に生かせ**
鈴木 征男 議員

議員

村民の生活に直接関係ある平成22年度予算編成について、村の基本的な考えを伺います。

村長

総合計画最終年度の現状を把握し「健康で住みよい村」の実現に向けた予算とすること。経常経費見直しによる歳出削減、既存の事務事業も大胆な見直しで経費の削減に努める事としています。

議員

村が「総合計画」に関する住民アンケートを実施しました。その中で住民要望が多い項目は防犯灯・排水整備・遊休農地活用・保育所の充実と就労支援・巡回バス。

高齢者福祉・健診の充実などの要望です。

新年度予算にアンケートで寄せられた声がどれだけ取り入れるかについて、村の考えを伺います。

村長

村が行ったアンケート、自立で輝く村づくりの会が行ったアンケート、併せて住民の声として、22年度予算編成で生かせるもの、先送りするものに区分し、予算編成に生かしたいと考えております。

議員

八積駅北側整備に莫大なお金を使うことに反対の声は大きいです。

自立で輝く村づくりの会のアンケートでは、推進は5・7%、反対は83・6%の圧倒的多数ですから村民の選択ははっきりしています。

村長は、住民の声を聞き、地に足のついた村づくりを進める立場から見解を伺います。

村長

非常に難しい質問です。自立で輝く村づくりの会のアンケートで83%の方が反対だと主張する事は結構

ですが、会のアンケートは本来の意味で客観性がどうなのかと思っています。

八積駅周辺整備はやめてくれの声と、一方ではどうしても駅周辺の整備をやってくれ、そういう声もあります。

今の段階ですぐに中止する考えは持っていません。

議員 村づくりの会のアンケートでは

孫子の代まで借金を残したくないとの声があります。村の財政見通しが無ければ23年度以降の事業計画は立てることが出来ないのでは、財政計画を示すように求めます。

企画財 政課長 一般会計・下水道特別会計を含め、財政シミュレーションは出来るだけ早くと考えてあり、下水道計画・村債と合わせ、新年度に入る前からいにはお示し出来るかと考えています。

福祉・介護サービスにおける送迎車の確保について

議員 介護保険事業、社会福祉協議会のふれあい事業、入浴サ-

ビス事業など大事な事業が行われています。送迎車の増配備の問題について、新年度予算で新規購入を予算化するよう求めますが、村の考えを伺います。

健康推進課長 上層部と良く検討しますが、担当課として要求していきたいと思っております。



村の送迎風景

鈴木議員からその他に次のような質問がありました

◇地域医療センター計画(山武・長生・夷隅)について

旧・長生高等技術専門学校跡地利用の展望について
片岡 啓治 議員

議員 旧・長生高等技術専門学校は、平成21年3月をもって廃校となり、県と村の間で譲渡に関する覚書が締結されています。

そこで、廃校の決定がなされた平成19年12月より、覚書が締結された21年3月までの経過について具体的に伺います。

村長 無償借り受けや、その後の買い取り交渉については、県と村の事務方で交渉を重ねてきました。

私自身も首長として、独自に相談・協議をおこなってきたところです。買い取り時期については

県上層部と直接協議し、できる限り安価で譲渡を受けられるよう最大限努力していくつもりです。

議員 県に無償譲渡してから約40年経過しており、村としては無償返還を求めるときと思うが、この場合の県の規約・条項等がどうなっているか伺います。

企画財 政課長 県財産および議会議決に付すべき契約に関する条例が県にあり、条文中には、寄付された財産であっても10年経過したものについては、無償で返すというものは無く、一般の財産と同じとなる規定があります。

議員 一般的に覚書には法的拘束力は無いと思われるが、本事業については、どう解釈しているか伺います。

村長 当面の3年間は無償で借り受け、3年後に取得することになっています。

したがって、3年後に再度、県と協議するもので、契約に至るまでの約束事であると解釈しています。

議員 3年後に契約を履行する際、覚書の内容が重要な材料になり得るか否か伺います。

企画財 政課長 覚書の内容については、幾つかの効力を持った約束となり、参考になっていくものです。

議員 県撤去対象外の建築物等は老朽化しており、多額の費用を要すると思われるが、村の対応策について伺います。

企画財 政課長 3年後、最終的に村が買取るとなった際には、村の諸事情も変化が生じると考えます。その際、再度県と協議となりますが、最終的には村が撤去し、費用については買い取り額より差し引いた額での履行となります。

議員 村長として、独自に相談・協議を行ったとの答弁ですが、県の何課とどのような内容を協議したのか伺います。

村長 県庁に出向いたときに当時の堂本知事に、また、不在の際には副知事および担当課に話をしてみました。知事とはいづる会われたか伺

います。

村長

たしか、覚書を締結する前の12月か11月下旬ごろだったと記憶しています。

その他、何かでお会いした際、話しました。

議員

具体性にかける答弁です。

現在、森田知事に替りましたが、協議・相談等に出向かれたか否か伺います。

村長

東京の会議でちよっとお会いしたときに話しました。

議員

村長は一度も知事のもとへ出向いてないようですが、元来、村の所有地であったことを踏まえて、村長自ら政治的交渉をされるよう要望し、質問を終わります。



長生高等技術専門校跡地

◆片岡議員のその他の質問*
老々介護について

村長は選挙期間中に 国保税引き上げを 諮問していた

関 克也 議員

議員

9月会議の私の一般質問で「村

長選挙後に国保運営協議会において①値上げをしない案と、②23%引き上げる案を同時に協議し、②の引き上げ案が全会一致で採択されたとの報告を受けた」と答弁されましたが、これは事実ではないので確認のため答弁を求めます。

村長

国保運営協議会は6月19日に開催され、村長選挙は3日後の22日でした。記憶違いであり訂正します。

住民課長

国保運営協議会は諮問ですので一つの案を協議いただくのが筋であり、したがって②

の値上げ案を提案し協議されたものです。

議員

事実は6月19日の国保運営協議

会で、村長は②の23%値上げ案を提案し了承を得ていたにもかかわらず村長選挙では「値上げしません」と訴えて、それを信頼した住民が村長に投票したという流れです。

村長はこの誤りを認めて、国保税の引き下げにどうやって転換するか知恵を尽くしていただきたい。

八積駅北側整備事業の見直しも必要

議員

自立で輝く村づくりの会が行った八積駅北側周辺整備計画についてのアンケートは、村内4千世帯以上に配布し、743件もの回答をいただきました。

「中止・見直し」の意向が8割を超え、さらに住民投票を求める声が8割を超えました。

男女別でも、年齢別でも、居住年数別でも、まんべんなく回答をいただいております。村民全体から寄せられた意見と言えます。このアンケ

ート結果をどう評価するか伺います。

村長

1つのアンケート結果として真摯に受け止めたい。現計画をなにがなんでも進めるということではなく、多くのご意見を伺い、住民に理解を得られる計画にしたい。

議員

「まちづくり交付金」がなくなった場合、八積駅の橋上化、駅北口広場、幅22mの都市計画道路などの現計画はやるのか伺います。

村長

駅の南北通路だとか、駅前オータリーとかを含めて大きなものはできなくなります。北側地域の排水対策や現南側の利便性確保などは必要で、事業の見直しも必要と考えます。

旧県立長生技術専門校跡地の返還交渉を

議員

前知事と村長の覚書で、平成23年度までに県から買い取る事になっていて旧県立長生技術専門校跡地についての質問です。

私が県庁に行って調べた決果、県条例では、「市町

村において公共用に供するために使用する」という理由があれば「無償」で譲渡できるとのことでした。したがって公共用に使う計画を立案して、村長が積極的に政治的交渉をして返還を求めて欲しいと思えますが見解を伺います。

村長

理論的な補強をいただきありがとうございます。直接、県知事とお会いして政治的エネルギーで強く交渉してまいります。



長生高等技術専門校跡地

◆私道整備補助金について
*関議員からその他に
次の質問がありました*

第1回定例会1月会議

平成22年第1回定例会1月会議を1月6日に開催しました。

1月会議では、報告1件、議案4件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

長生村国民保護協議会条例制定を可決

この条例は、外国からの武力攻撃やテロ等による住民の生命・財産への被害を最小限に食い止めることを目的とした国民保護計画を策定するため、自治体と関係団体によって構成される国民保護協議会設置の必要性から制定されました。

また関連条例として、あわせて「長生村国民保護対策本部及び長生村緊急処理事態対策本部条例について」「長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について」が可決されました。

長生村はこれまで、千葉県で唯一、条例制定を行なっていませんでしたが、この協議会は法により各自治体が設置する義務がありま

物品購入契約を可決

した。今回の条例制定により、有事には自衛隊によるスムーズな支援が受けられることとなります。

物品購入契約を可決

可決された内容は次のとおりです。

【契約の目的】

自主防災組織推進事業にかかわる防災資機材購入

【契約の方法】

指名競争入札

【契約の金額】

1956万3600円

【契約の期間】

議会の議決があつた日の翌日から平成22年3月26日まで

【契約の相手】

防災技術センター株式会社

報告

議会活動の



3常任委員会合同所管事務調査

(12月21日)

【調査の目的】

厳しい財政状況を踏まえ、各種団体等への補助金について、経費の節減・合理化の推進を期待し、平成22年度の補助金の適性化と効率化を図るため実施しました。

【村への要望事項】

繰越金等を保有する団体については、保有資金の解消を前提として補助金交付額の見直しをすること。

報酬等については、実働回数等と支給額に、不公平感が見受けられるので改善を求めます。

会員から負担金を徴収している団体は、親睦目的の負担金か、運営上、必要な負担金か精査し目的が円滑に達成されるよう改善を求めます。

一般財源による補助金事業は、国・県の補助を活用できないか調査及び検討を求めます。全般に、補助金交付額の算定根拠が曖昧なので、基準を設けるよう求める。

全員協議会報告

(11月13日・12月11日)

【11月13日】幸福の科学による城之内地区の大学建設計画変更についての協議会が開催されました。

内容は平成25年4月に開校予定でしたが、幸福の科学・国・県の協議で3年間繰り延べをする旨の報告がありました。

【12月11日】国民保護協議会条例、国民保護対策本部及び緊急処理事態対策本部条例、一般職の給与に関する条例の一部改正についての事前説明がありました。

本件は、千葉県で最後の行政区（長生村）での条例制定となり、1月議会で審議されることとなりました。

